

日にち 8/15	名前	点
----------	----	---

- (1) $4\frac{1}{3} \times 7.5 \div 3\frac{1}{4} = \boxed{}$
- (2) $18 - (\boxed{} \times 4 - 3) = 1$
- (3) 2時間34分22秒 $\div 2 = \boxed{}$ 時間 $\boxed{}$ 分 $\boxed{}$ 秒
- (4) 何人かの子どもに色紙を分けるのに、1人4枚ずつ配ると18枚余りますが、1人6枚ずつ配ると、余りがなくちょうど配ることができます。このとき、子どもは $\boxed{}$ 人います。
- (5) 何人かの子どもに色紙を分けるのに、1人8枚ずつ配ると16枚不足したので、1人6枚ずつ配ると、余りがなくちょうど分けることができました。このとき、子どもは $\boxed{}$ 人います。
- (6) 何人かの子どもにみかんを分けます。1人3個ずつ配ると20個余りますが、1人7個ずつ配ると、余りがちょうどなく配ることができました。このとき、みかんは $\boxed{}$ 個あります。
- (7) 何人かの子どもにえんぴつを分けるのに、1人4本ずつ配ると6本不足したので、1人3本ずつ配ると、余りがなくちょうど配ることができました。このとき、えんぴつは $\boxed{}$ 本あります。
- (8) 何人かの子どもにりんごを分けるとき、1人に6個ずつ配ると10個余りましたが、1人に8個ずつ配ると12個不足しました。このとき、子どもは $\boxed{}$ 人います。
- (9) 1個50円のみかんと1個110円のりんごを同じ個数ずつ買くと、みかんとりんごの代金の差が540円になりました。このとき、みかんとりんごをそれぞれ $\boxed{}$ 個ずつ買いました。
- (10) 1本250円のお茶と1本300円のジュースを、お茶の本数がジュースの本数よりも4本多くなるように買ったところ、代金はお茶の方が500円高くなりました。このときジュースは $\boxed{}$ 本買いました。

各10点×10問

(1)		(2)		(3)		(4)		(5)	
(6)		(7)		(8)		(9)		(10)	

8/15 (1) 10 (2) 5 (3) 1(時間)17(分)11秒 (4) 9 (5) 8
(6) 3 5 (7) 1 8 (8) 1 1 (9) 9 (10) 1 0

解説

(1)

$$\begin{aligned} & 4\frac{1}{3} \times 7.5 \div 3\frac{1}{4} \\ &= \frac{13}{3} \times \frac{75}{10} \div \frac{13}{4} \\ &= \frac{13}{3} \times \frac{15}{2} \div \frac{13}{4} \quad \left(\frac{75}{10} \text{を約分} \right) \\ &= \frac{13 \times 15 \times 4}{3 \times 2 \times 13} \\ &= 5 \times 2 \quad (\text{約分}) \\ &= 10 \end{aligned}$$

(2)

$18 - (\square \times 4 - 3) = 1$ よりかっこの中は
 $(\square \times 4 - 3) = 18 - 1$ で17となるため
 $\square \times 4 - 3 = 17$ となり、 $\square \times 4$ の値は
 $\square \times 4 = 17 + 3$ で20となる。
よって、 $\square \times 4 = 20$ なので $\square = 20 \div 4$
答えは5となる

(4) 1人に追加で2枚配ると、余りが18枚減るので $18 \div 2 = 9$ 人となる。

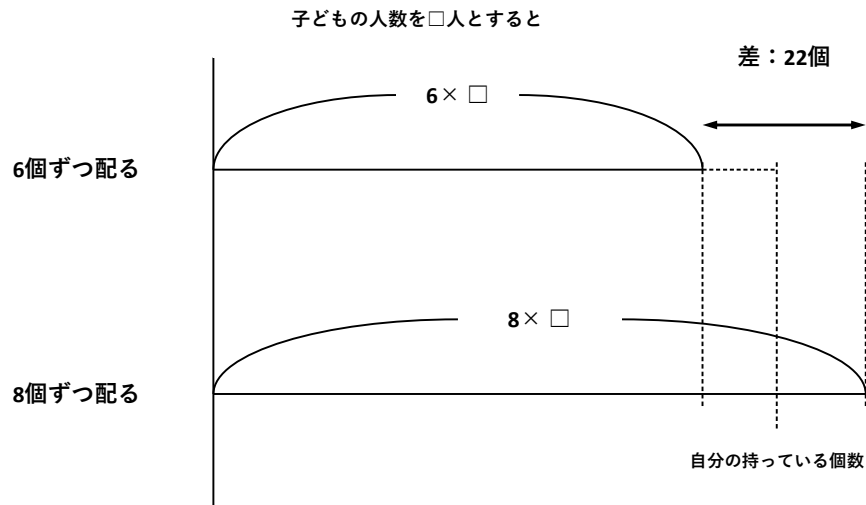
(5) 1人に配る枚数を2枚減らすと16枚の不足がなくなるので
 $16 \div 2 = 8$ 人となる。

(6) 1人に追加で4個配ると、余りが20個減るので $20 \div 4 = 5$ 人となる。
よってみかんの個数は $7 \times 5 = 35$ 個となる。

(7) 1人に配る本数を1本減らすと6本の不足がなくなるので
 $6 \div 1 = 6$ 人となる。よってえんぴつの本数は $3 \times 6 = 18$ 本となる。

(8)

子どもの人数を□人として、問題文から図を書くと



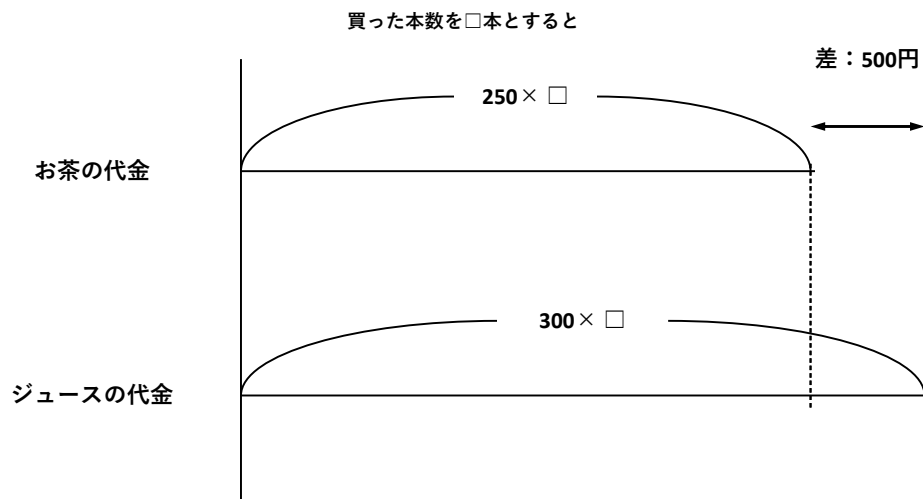
上の図になります。また、1人分のりんごの個数の差は $8 - 6 = 2$ 個となります。
子どもの人数を□人としたときのりんごの個数の差は $2 \times \square$ と表すことができ、差は図から余りの10個と足りない分12個を足した $10 + 12 = 22$ 個となります。
よって $2 \times \square = 22$ となり、□は11で、子どもの人数は11人となります。よって答えは11人になります。

(9)それぞれ1個ずつ買うと60円の差がつくので、540円の差がつくためには

$540 \div 60 = 9$ 個となる。よってみかんとりんごは9個ずつ買ったことになる。

(10)

買ったお茶とジュースの個数を□個として、まずお茶とジュースの金額差を考えます、お茶のほうが500円高いですが、お茶は4本多く買っているので、 $250 \times 4 = 1000$ 円だけ多く買っていることになります。つまり同じ本数だけ買うと値段はお茶のほうが $1000 - 500$ の500円だけ安いので、そこから図を書くと



上の図になります。また、お茶とジュース 1 本分の差は $300 - 250 = 50$ 円となります。
お茶とジュースは 1 本につき差が 50 円大きくなるので、 \square 本買ったときの差は $50 \times \square$ と表すことができます。また図から代金の差は 500 円とわかるので $50 \times \square = 500$ となり、 \square は $500 \div 50 = 10$ 本と求められます。
よって答えは 10 本ジュースを買ったとなります。